

近畿支部

支部長 白山宏人

【近畿支部活動報告】

近畿支部では多職種での研鑽を目的として、毎年2月に年次大会を開催し、年に1～2回の頻度で教育セミナーを開催しています。今後も様々な現場において死の臨床に関わる方々の学びや支援となる企画を続けていきたいと思えます。

【第31回近畿支部年次大会・大阪】

日程：2025年2月2日（日） 10：00～16：00

会場：東大阪市文化創造館

東大阪市御厨南2-3-4

近鉄奈良線八戸ノ里駅下車 北に徒歩5分

大会テーマ：『豊かに生ききる』

大会長：川邊正和先生（かわベクリニック）

山本直美さん（若草第一病院）

基調講演：10：00～12：00

『病いの語りを聴く方法 ～ NBM ～』

演者：中川晶先生

ナラティブコミュニケーション研究所所長

ながわ中之島クリニック院長

ワークショップ：13：00～16：00

『生と死を彩る言葉（ことぐすり）』

演者：大坂巖先生

Clinical Dialogue Coaching 代表

参加費

近畿支部会員・登録会員、他地区支部会員：2000円

それ以外の方（研究会本部会員のみも含）：3000円

皆さまの御参加をお待ちしております。

【近畿支部教育セミナー】

2024年12月7日土曜日午後から新大阪において教育セミナーを開催しました。テーマを「安楽死って緩和ケ

ア？」として開催しました。テーマのインパクトが大きいかもしれませんが、海外では、終末期患者に対する積極的安楽死、医師による自殺ほう助を法的に許容する国が増えています。もし自分の患者が安楽死を希望したら、どう考えられるでしょうか？簡単に答えの出る問題ではないかもしれませんが、一度、自由に語ってみる機会を持てればという事を目的として開催しています。会社員で尊厳死協会関西支部理事長の浦嶋偉晃さんから現状をお話頂き、淀川キリスト教病院の池永昌之先生から解説や仮想事例等も提示頂きディスカッションをしています。本人の自己決定権の尊重が叫ばれる中、これらの対応も緩和ケアの役割に含まれるのか？我が国の文化の中でどう位置付けられるのか？医療者や市民の枠を超えて自分事として考え、意見を交換する時間となりました。

今後も活発な意見交換や学びの機会となるセミナーを企画していきたいと考えています。

【近畿支部入会の御案内】

近畿支部では随時新規会員を受け付けています。入会ご希望の方は下記事務局までメールもしくはFAXにてお申込みください。申し込みについて事務局から返信させていただきます。

【近畿支部事務局】

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原 1-8-24 新大阪第3ドイビル3階
大阪北ホームケアクリニック内

E-mail:shiro-okhc@healthcarenet.jp

FAX:06-6350-0468

担当：白山、森田、山内